

— 平成29年度 実務・実践発表大会を開催しました —



平成30年2月23日（金）に「阪神福祉事業団 実務・実践発表大会」を開催しました。この発表大会は、毎年この時期に行っており、各施設が年度当初に設定したテーマ等に沿った取り組みを1年間（事例によっては複数年かけて取り組むものもあります）実践し、その内容や成果をまとめて、スライドや画像を使って発表するものです。



例年、4月採用の内定者の皆さんにも、内定者研修のプログラムの一環として参加いただいているほか、総勢60名以上の職員が各チームの発表に耳を傾けました。

各チームとも、取り組んできた成果や今後の問題提起などを分かりやすく伝えようと趣向を凝らした内容であり、それぞれの職場で取り組む参考となるヒントが多くありました。

	所 属	テーマ及び内容
1	救護施設 ななくさ厚生院	「今年度の地域貢献について」 ～地域と輝く厚生院～ ※ 地域の方に、救護施設である厚生院を知ってもらうための取り組みを考え、実践してまとめました。
2	障害者支援施設 ななくさ新生園	「～働きやすい職場づくり～」 ※ 支援における利用者の方への満足度を高めるために、職員間のチームワークにスポットをあてて分析し、より良い職場環境づくりを実践しました。
3	障害児入所施設 ななくさ学園	『 障害児療育支援事業の「今まで」と「これから」 』 ～地域のニーズへ丁寧に応えるために～ ※ 施設の機能を活用して、地域で生活する障害をもった子どもや家族に対して行う療育支援事業の取り組みについて、ニーズの把握からアプローチの方法までをまとめ、今後の展開についても分析しました。
4	障害者支援施設 ななくさ育成園 【優良賞】	「ユニット“なずな” A様の事例」 ～虐待ケースで入所されたA様へ心に寄り添う支援の実践～ ※ お1人のご利用者が入所して、なずな寮での生活に馴染んでいただくまでの、アセスメントを含めたさまざまな取り組み、チームでの支援方法をまとめました。
5	給食 センター	「共に歩み・共に創る社会」 それは ～NEVER END～ ※ 今年度、ジョブコーチを中心に複数の職員が携わって実施してきた給食センターでの障害者雇用の取り組み内容とその進展を、多角的な視点でまとめました。
6	特別養護老人 ホーム ななくさ白寿荘 【優秀賞】	「白寿荘地域貢献の軌跡」～地域共生社会実現に向けて～ ※ すでに地域住民の方に浸透しつつある、白寿荘が地域で実施してきた認知症サポーター養成講座、認知症予防体操をはじめとする各取り組みについて発表し、今後の展開についてまとめました。



各チームの発表は上表のとおり
6題あり、幹部会による審査の結果、上位2チームには、「優秀賞」
「優良賞」の授与が行われました。

賞を受賞したチームも、そうでないチームも、終了後はほとんどの発表者が、サポートをもらったチームメンバーや職場の人達に感謝の気持ちを伝え、常務理事からの「これからも、チームワークを大切に、本日発表した取り組みを続けて下さい。」との総評に、気持ちを新たに引き締めていました。



今回も参加した職員同士、大きな感動と刺激、来年度に向けた問題意識を共有し、発表大会は閉会しました。